

けいめい

保育園を運営して之上を基本は財政的基礎を整えていくこと
職員集団が日々働き易い環境を作り出すことにある。

この一年、社会的には、通園バスによる事故や不適切保育など
が問題となった。又、コロナ収束せず、復元を急がせた。

当保育園でも園児保護者職員にも安全が必ず優先者が出たが、乗りこえ
るこしが出事した。

財政

総収益はみたが三億円余、せたがや二億八百万円。収入の
毀打状況の中を非常に厳しい状況にあり、それは内部蓄積に表
れている。みたが四百万、せたがや九百五十万、三百万と異なる。
一方で、福祉医療稼働が、その借入金の返済は順調である。

二〇三三年三月末、みたが四百九万、せたがや三五百万である。

施設関係

大きな修理・修繕はなかった。電気系統が、この本園、せたがや保育
園共に十年をこえてきている。大きな修繕・取組を急がなかったが
細かい部分的な修繕等で凌いだ。

仏土は事業

せたがやで行うとしていたが、世田谷区が募集しないという方針だった。
ので具体化できなかった。二〇三三年度は、三地区募集する事が発表
している。鳥辺地区の募集地区とすうて、そのうち募集し実現するよう
努力していく。